

Lecture and Workshop

October 11, 2008

第1部 13:00-15:30 東京大学工学部1号館15号教室

レクチャー=ニューヨーク都市居住の転換点—1867-97年

講演=リチャード・プランツ(コロンビア大学)

解説=鈴木真歩(東京大学)

コメント=阿部祐子(東京大学)

第2部 16:00-17:30 東京大学工学部1号館3階講評室

ワークショップ=ニューヨーク都市居住に関する資料の所在と利用について

講師=リチャード・プランツ

解説=鈴木真歩

司会=伊藤毅(東京大学) 通訳=寺田裕佳(コロンビア大学)+ロドリック・ウィルソン(スタンフォード大学)

主催=都市史研究会+ぐるーぷ・とらんど3 <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/trad3>

協賛=東京大学 GCOE プロジェクト「都市空間の持続再生学の展開」

お問い合わせ=〒113-8656 文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部 1号館 3階 伊藤毅研究室

ニューヨーク

都市居住の転換点—1867-97年

Transitions in the Culture of Housing in New York City, 1867-1897

リチャード・プランツ (コロンビア大学)

Richard Plunz



Photo: Alexandre C, Design: Iwamoto Kaoru

リチャード・プランツ教授プロフィール

1966年 建築学学士、レンセラー工科大学(ニューヨーク州トロイ)

1967年 建築学修士、同上

レンセラー工科大学、ペンシルヴェニア州立大学で教鞭をとる。ほか客員研究員としてベルギー、ルーベン・カトリック大学やイタリアのトリノ工科大学に所属。コロンビア大学においては1977年から80年にかけて「建築・都市計画・保存大学院」の建築部門の主任 chairman を務め、1992年にアーバンデザインコースの長 director となって現在に至る。アメリカ国内のほか、イタリアやトルコにおいて、長期的な視点から見た建築と都市についての調査、研究を行ってきた。住宅分野での設計活動に対して1991年にアメリカ建築家協会からアンドリュー・J・トーマス賞が贈られた。

【主要著作】 Richard Plunz, *A History of Housing in New York City: Dwelling Type and Social Change in the American Metropolis* (New York: Columbia Univ. Press, 1989) (酒井詠子訳『ニューヨーク—都市居住の社会史』(鹿島出版会、2005年))



都市史研究会
THE URBAN HISTORICAL SOCIETY OF JAPAN